

豊後大野市総合戦略

～人も自然もシアワセなまち～

概要版



人も自然もシアワセなまち

ぶんごる

bungo-ru

豊後大野市
大分県 JAPAN



豊後大野市

【豊後大野市人口の将来展望（ビジョン）】

■自然動態

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる施策を総合的に推進し、子どもを安心して産み育てられるまちを実現することで、低下傾向にある合計特殊出生率の回復・向上を目指します。

<合計特殊出生率目標値>

2020年	2025年	2030年
1.65	1.80	1.94
2035年	2040年	2045年～
2.09	2.24	2.30

■社会動態

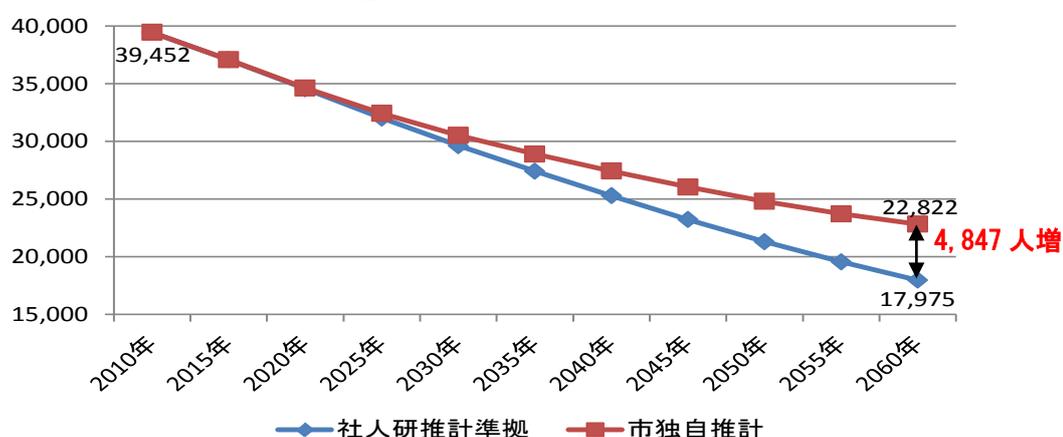
本市は、大学進学や就職による人口流出が多く、この流出を解消しなければ人口減少の歯止めはできません。

そのため、「住みたい」「働きたい」と思えるような住環境や雇用環境を創出する施策の推進により、U I J ターン就職の促進と就職に伴う転出抑制を目指します。

<社会増(社人研推計値にプラス)目標値>

2020～2025年	2025年～
+29人/年	+47人/年

※合計特殊出生率…人口統計上の指標で、1人の女性が一生に産む子供の平均数を示す
社人研…国立社会保障・人口問題研究所の略



上記の自然動態・社会動態の目標を達成することにより、合計特殊出生率の改善と人口の流入促進・流出抑制がなされれば、2060年の人口は22,822人と推計されます。

【豊後大野市の中長期展望】2060年の時点で人口22,822人

【豊後大野市が目指すべき将来の方向】

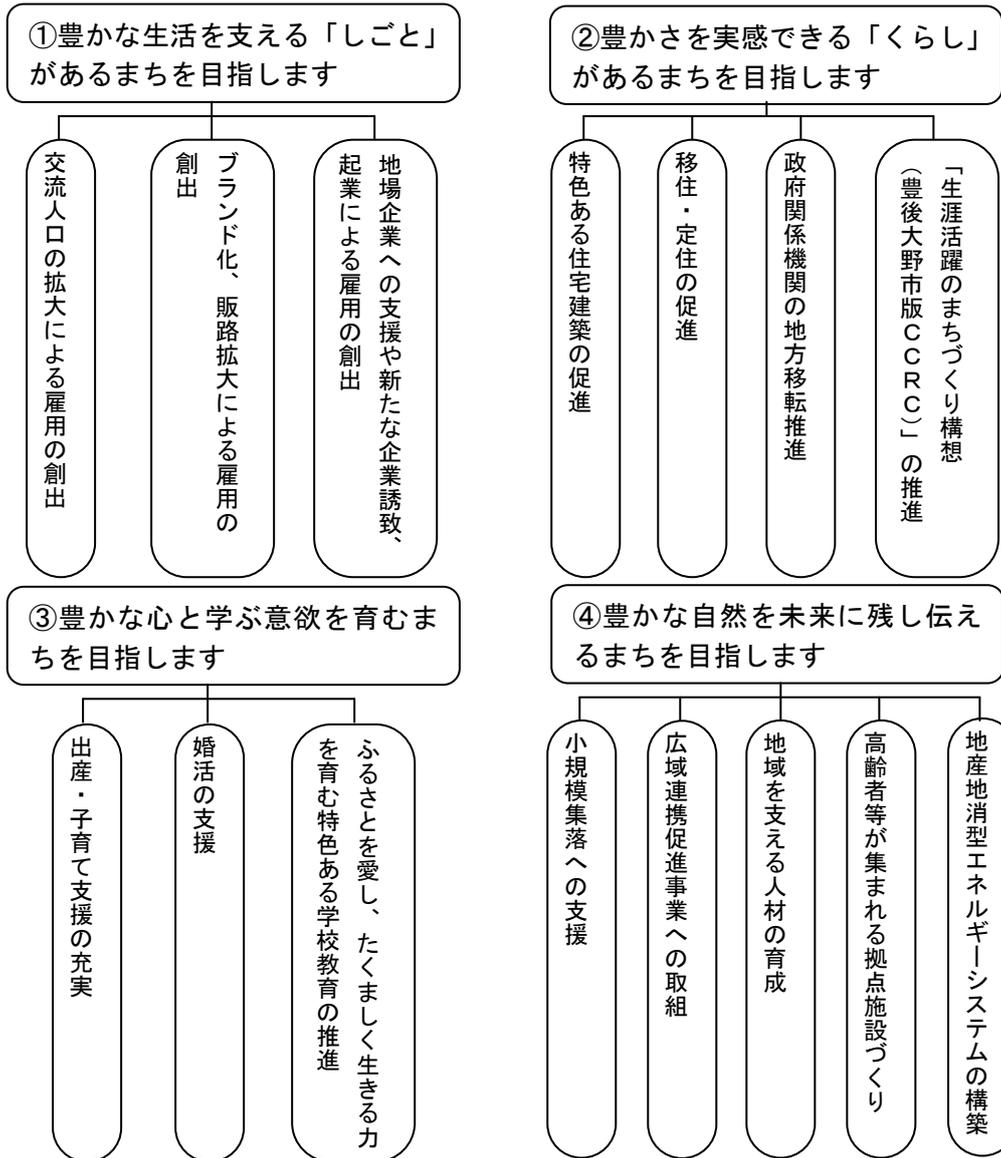
「人口減少を抑制し、将来にわたって地域の活力を維持すること」

この実現に向けて、4つの柱に沿って、具体的な地方創生の取組を進めていきます。

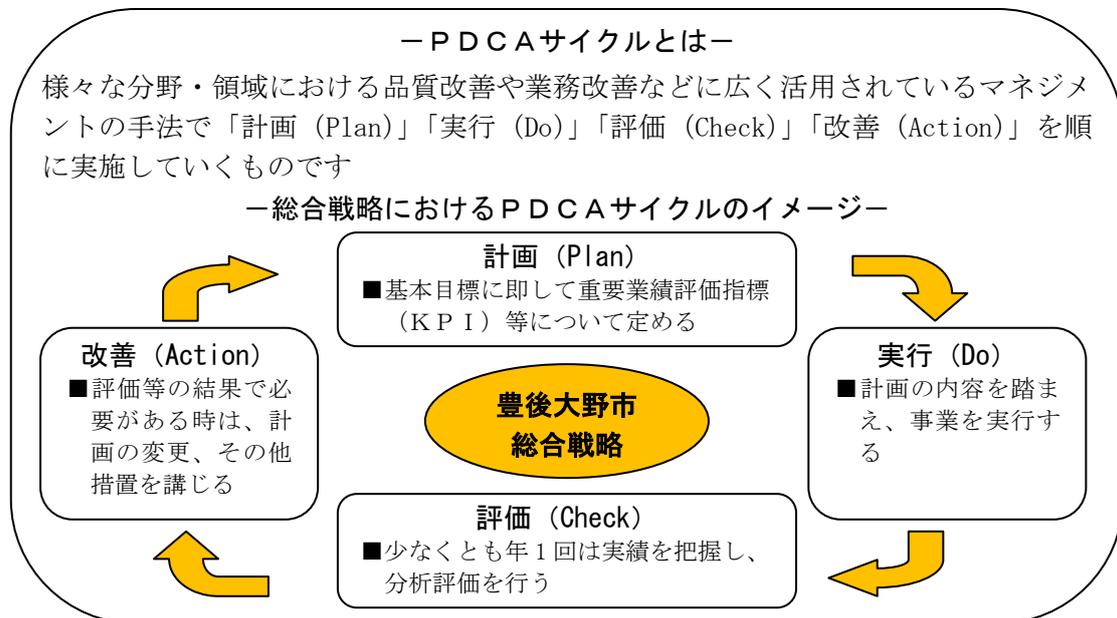
4 つ の 柱

- ① 人口減少の要因の一つは、若年層の流出があり、若年層の市外への流出を抑えるために、安定した雇用を創出すること。
- ② 地域経済の縮小を抑え、地域に新しい活力を生み出すために、新たなひとの流れをつくること。
- ③ 年少人口の減少を抑えるために、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえること。
- ④ 人口減少社会に対応した地域の活力を維持するために、時代に合った地域をつくること。

【豊後大野市総合戦略の基本目標と基本的方向】



【豊後大野市総合戦略の進行管理-PDCAサイクル-】



参 考

◎「総合戦略」って？



人口減少を少しでも抑えるために、豊後大野市として取り組む内容を「戦略」という形でまとめたものです。

期間は2019年度までで、取り組んでいる内容は、毎年度、検証して必要な場合は内容を変更するようになっています。



国が示す主な基本目標は以下の4つです。

※傍線部・・・2020年のKPI（重要業績評価指標）

赤字部分・・・2016年10月時点の値

「しごと」をつくる

- ・若者雇用創出数（地方）
5年間で30万人
⇒9.8万人創出
- ・若年者の正規雇用等
全世代と同水準へ
⇒格差縮小
- ・農林水産業6次産業化
市場規模10兆円
⇒5.1兆円

「ひと」の流れを変える

- ・地方と東京圏との
転出入の均衡
⇒東京圏への転入超過
12万人
- 〔地方→東京圏 6万人減
⇒2万人増（49万人）
東京圏→地方 4万人増
⇒0.3万人減（37万人）〕

結婚・子育ての希望実現

- ・第1子出産前後の女性
継続就業率 55%
⇒53.1%
- ・男性育休取得 13%
⇒2.65%
- ・支援ニーズの高い妊産婦
への支援実施 100%
⇒86.4%

「まち」をつくる

- ・立地適正化計画を作成
する市町村 150市町村
⇒4市町村
- ・「小さな拠点」の地域運営
組織形成数 3,000団体
⇒1,680団体
- ・連携中枢都市圏の形成数
30圏域
⇒17圏域

<「豊後大野市総合戦略」に関する問い合わせ>

豊後大野市役所地域創生課

電話：0974-22-1001 内線 2412、2413、2414

FAX：0974-22-3361